

# 事業説明シート(概要説明書)

## ○事業の位置付け

事務事業名	青少年指導・相談事業	事業期間	
事業担当部・局、課、担当名	健康・こども部 青少年課 指導相談担当	予算科目	01-030105-040000
総合計画の位置付け	01 基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	対象・受益者	悩みを抱えた青少年・問題行動をしている青少年
	01 ①<人間力> 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ		
	04 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる		
根拠法令(上位施策事業名)		対象者数(全住民に対する割合)	33,198人(12.9%) H26.1.1青少年人口
事業開始・継続の背景	昭和39年8月に青少年課が発足し、同年11月に青少年相談室を設立して業務開始しました。青少年を取り巻く社会環境は刻々と変化し、各時代や世相を映す鏡のように社会背景に大きく影響される形で青少年の問題行動等が多様化して発生しています。青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のための巡回愛護指導や青少年の悩みを早期に解消するための相談活動を継続しています。		
目的・目標	悩みを抱えた青少年や保護者の不安や悩みが和らいでいます。また、問題行動のある青少年が立ち直り、犯罪に関わらないように守られています。		

## ○事業の概要、年度別事業内容、事業費

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託業務名と委託先)	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助金名と補助先)		
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先)	<input type="checkbox"/> その他			
事業の概要	青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のため、青少年補導員による巡回指導を行います。また、青少年の悩みを早期に解消するため、青少年相談員による相談活動を行います。				
事業詳細	<p>[青少年相談] 月～土曜日に日常開設し、原則6歳から20歳未満の青少年とその家族、学校等からの相談や警察からの委託ケースを随時受入れ、問題解決を目指しています。          青少年相談嘱託員(賃金月額@182,300円×2人)</p> <p>[ヤングテレホン相談] 月～土曜日に日常開設。子ども専用のホットラインとして、青少年の話にじっくり耳を傾けて一緒に考え、抱える悩みの解消を目指します。又、メール相談も受け付けています。          電話相談嘱託員(賃金月額@144,100円×2人)</p> <p>[愛護指導] 月～金曜日の16:00～18:00の他、七夕や花火大会等のイベント時、夏夜間特別愛護、年末期間特別愛護、市内各中学校区ごとの校区強化愛護など青少年の問題行動の発生しやすい時期や場所、又、不審者情報のあった地域もパトロールし、早期指導を行います。          街頭補導嘱託員(専任補導員)(賃金月額@167,200円×2人)・青少年補導員謝礼(@4,800円×42人×12回)</p>				
(単位:千円)	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算見込額	平成26年度 予算額	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	299	262	350	
	起債				
	その他 特財				
	一般財源	18,003	18,207		18,584
事業費(A)	18,302	18,469	18,846	18,934	
内訳	職員(人)	1.15	1.15	1.15	1.10
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)	9,320	9,218	9,141	8,595	
フルコスト(A+B)	27,622	27,687	27,987	27,529	
事業費内訳(平成25年度)	賃金 報償費	嘱託員賃金6人(相談2人電話相談2人街頭補導2人) 青少年補導員愛護指導報償費@4,800円×526回		16,320,979円 2,524,800円	

## ○事業の実績

指標設定理由等	悩みを持つ青少年(家族を含む)等への相談機会提供の指標としての相談室開設日数 青少年非行未然防止活動の指標としての愛護指導実施回数 相談室における相談業務の成果としての来室・電話・メール等各手段による相談件数					
活動指標①	指標名	相談開設日数			単位	日
	説明・算定式	青少年相談室を開設した日数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	297	295	294	295	
	実績	297	293	294		
活動指標②	指標名	愛護指導回数			単位	回
	説明・算定式	愛護指導を実施した回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	430	430	430	430	
	実績	467	427	427		
成果指標①	指標名	相談件数			単位	回
	説明・算定式	電話(ヤングテレホンを含む)やメール、来室により相談を受けた件数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	850	850	950	950	
	実績	997	1,003	850		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
上記以外の成果	愛護による声掛け指導件数 平成23年度 3,893件(男子2,216件 女子1,677件)内容:交通違反73.0% 飲酒喫煙15.5% 不良交友8.6%他 平成24年度 3,088件(男子1,796件 女子1,292件)内容:交通違反77.5% 飲酒喫煙11.3% 不良交友8.3%他 平成25年度 2,875件(男子1,610件 女子1,265件)内容:交通違反79.4% 飲酒喫煙14.4% 不良交友4.1%他					
平成25年度の主な取組と成果						
青少年の非行の早期発見及び早期指導を実施しました。愛護指導については、自転車運転中の携帯電話使用やイヤホンの使用についての指導が昨年からの声掛けが浸透したことにより減少しました。また、飲酒・喫煙の指導は七夕まつりでの声掛けが増えたことにより増加したものの、全体では昨年度より減少しました。相談業務については、全体的に若干減少しました。						

## ○事業分析

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えた青少年からの相談や、問題行動のある青少年への声かけは依然として多い水準となっており、引き続き事業を行っていく必要があります。	●高 ○低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えたり、問題行動のある青少年は増加傾向にあると言われており、そうした青少年に対し粘り強く指導・相談を継続していくことは、問題解決に高い効果が期待できます。	●高 ○低
	妥当性 <input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うにあたり、現在においても限られた人員で交代勤務を行っているため、執行体制の妥当性は高いものと思われます。	●高 ○中 ○低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	嘱託員賃金の削減は困難ですが、愛護指導報酬の見直しについては検討の余地があります。	○高 ●中 ○低
今後に向けた課題の分析、課題に対する考え方			
相談室の啓蒙活動として、25年度より啓蒙チラシを市民病院や金融機関、カラオケ店等に配布するなど拡大し、相談数の増加に努めます。			

## ○次年度以降の取組

### 平成27年度の取組方針

地域と連携した愛護指導（中学校区強化愛護指導）を実施し、地域の実情に沿った愛護指導活動を行います。また、警察等関係機関との連携をより強化し、より適切な対応ができる体制づくりに努めます。

## ○参考資料

### 比較参考値(他自治体での類似事業の例など)

青少年に対する街頭愛護指導の状況

横須賀市	専従職員2名(警察OB)	地域選出補導員なし	週3日	専従職員のみによるパトロール
鎌倉市	専従職員なし	中学校推薦市民・教員21名	年間10回前後	専従職員のみによるパトロール
藤沢市	専従職員4名(警察OB)	地域選出補導員なし	平日すべて	専従職員のみによるパトロール
茅ヶ崎市	街頭指導実施せず			
厚木市	専従職員5名(警察OB)	地域選出補導員なし	週2～3日	専従職員のみによるパトロール
秦野市	専従職員4名(教員・警察OB)	地域選出補導員なし	週2～3日	専従職員によるパトロール(地域合同もある)
伊勢原市	専従職員1名(警察OB)	小中高教員・市民委嘱27名	週4日	合同パトロール
平塚市	専従職員2名(警察OB)	中高教員・市民委嘱42名	平日すべて	合同パトロール(地域・他機関合同もある)

### 平塚市の類似・関連事業(同一目的事業等)